

CITY OF YOKOHAMA

26万人の児童生徒のビッグデータの活用で、 横浜の教育が変わります！

～データサイエンスを取り入れた横浜の挑戦！

学習ダッシュボードが全国最大規模で6月から運用開始～

2024年6月13日
市長定例記者会見

明日をひらく都市
OPEN X PIONEER

1 ビッグデータ化

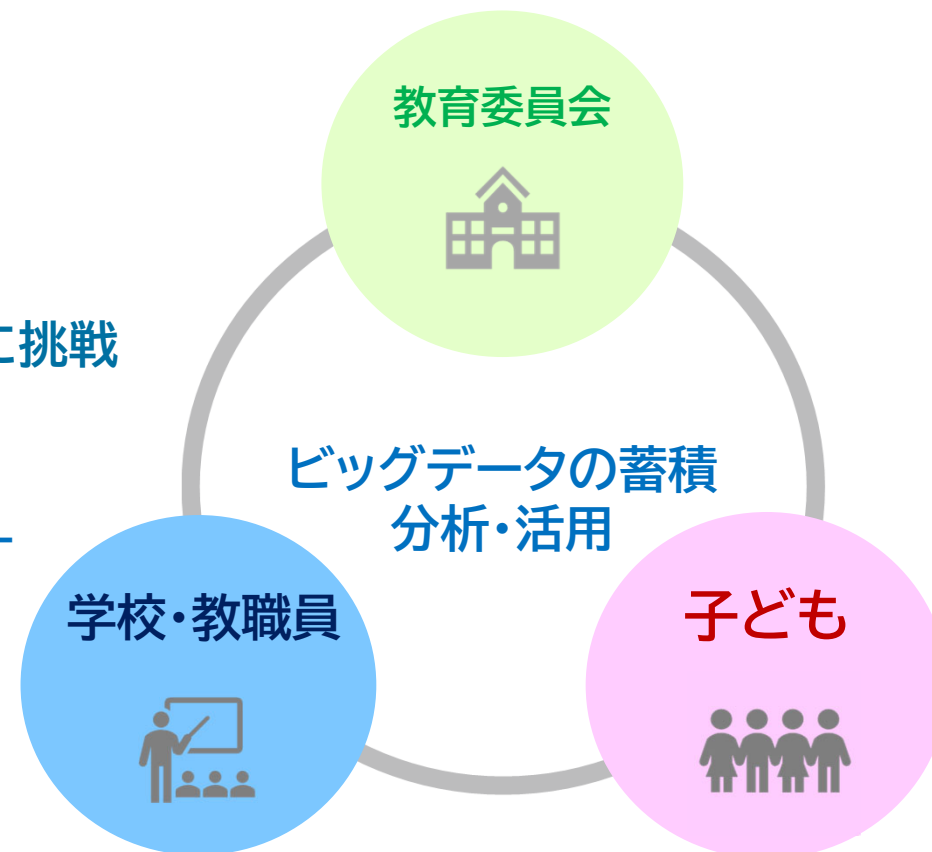
全国最大規模の教育データ基盤を形成します

2 エビデンス化

共創による教育データサイエンス・ラボの形成に挑戦

3 スパイラル化

横浜方式の教育EBPMのサイクルを創造します



1 ビッグデータ化

収集・累積

全国最大規模の教育データ基盤を形成します

26万人の児童生徒一人一台端末とネットワークのつながりを活かす

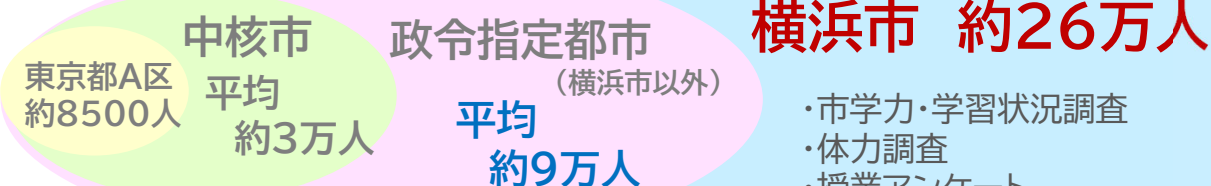
明日をひらく都市
OPEN × PIONEER
YOKOHAMA

圧倒的な規模のデータ量

26万人児童生徒の学習、意欲、健康などのデータがクラウドに、安全かつ円滑に蓄積

児童生徒数の比較

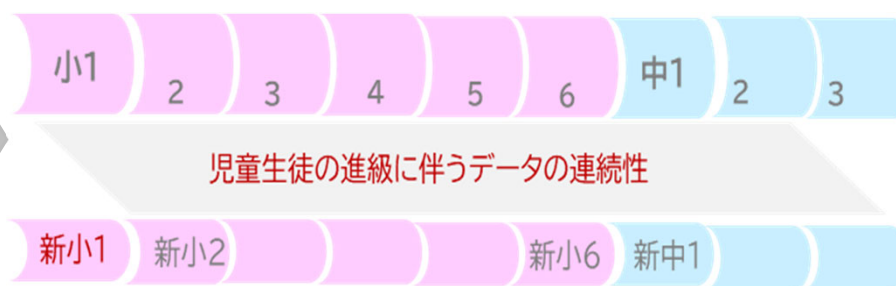
➡ 一貫した信頼できるデータの収集ができる、他に類をみないフィールドの価値



時系列データの累積・解析による将来予測

時系列データが累積することで、エビデンスの精度を上げ、個々の学びの状態に応じた効果的な指導が可能

➡ 9年間の学びと心の成長や変化、学習環境等との相関性を裏付けるデータの価値



例えば、市学力・学習状況調査のデータだったら・・・



平成17年度の調査開始から 494万人分！

2 エビデンス化

共創・分析

共創による教育データサイエンス・ラボの形成に挑戦

大学、ICT企業、教職員の共同によるチームが教育ビッグデータ分析に取り組む

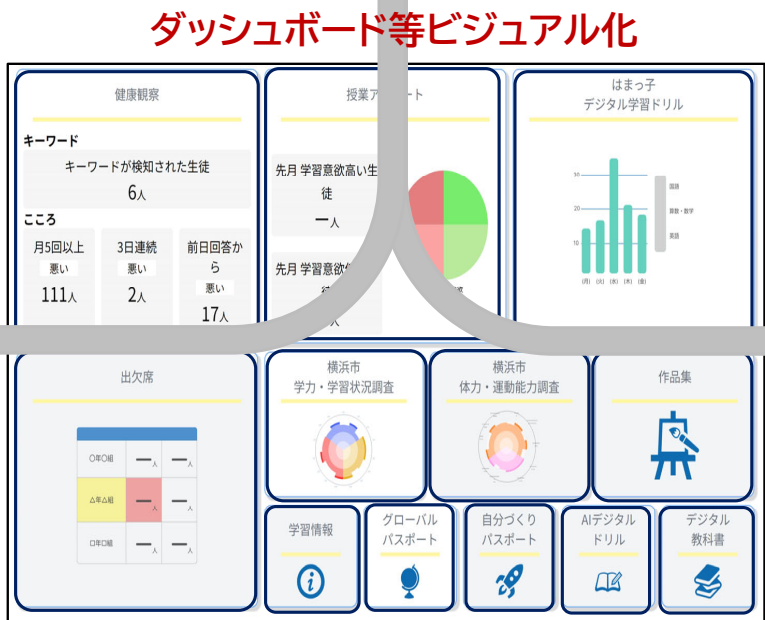
明日をひらく都市
OPEN × PIONEER
YOKOHAMA

共創によるデータ分析

データサイエンスチーム

大学(横浜国立大学、名古屋大学、慶應義塾大学等)
企業(内田洋行、コニカミノルタ、NTT東日本等)
教職員等(情報研究会、養護教諭、SC等)

データサイエンス・ラボに進化させます！



様々な視点から分析した子どもの電子カルテを活用

学校・教職員

- 子ども理解が深まる
- 個に応じた指導が可能

子ども

学力や健康のデータから、自分に合った学び方や教材が分かる

- 主体的に学ぶ習慣が身に付く

3 スパイラル化

共創・分析

横浜方式の教育EBPMのサイクルを創造します

収集、分析、活用、更新のサイクルを回し、一人ひとりの個性に応じた教育を実現

明日をひらく都市
OPEN × PIONEER
YOKOHAMA



学習ダッシュボードについて

明日をひらく都市
OPEN × PIONEER
YOKOHAMA

